

# 令和7年度第3回宮代町地域公共交通会議

## 次 第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 循環バス利用状況について

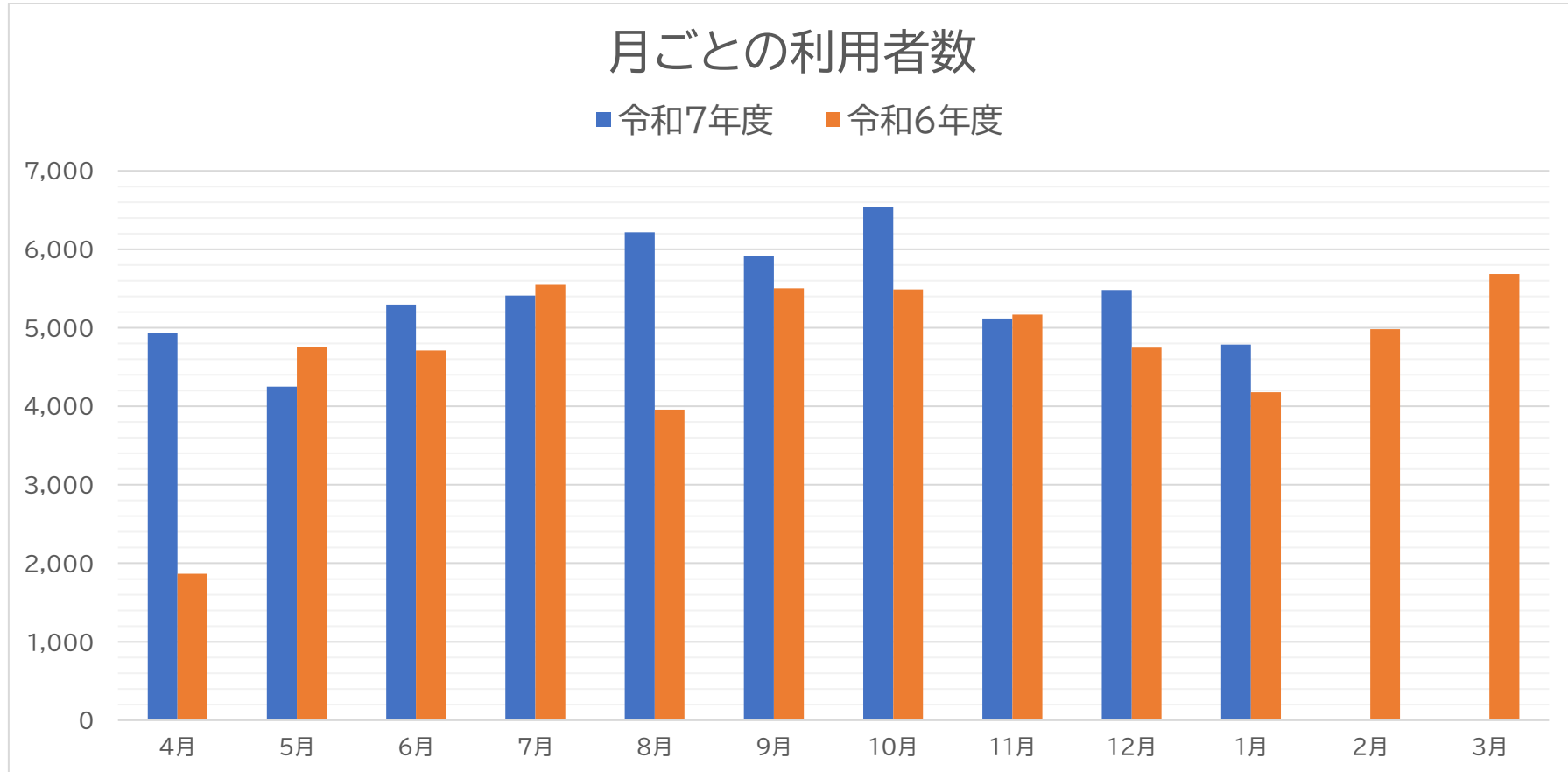
(2) タクシー券利用状況について

(3) 宮代町公共交通需要調査の報告について

4. その他

## 循環バス運行状況について

資料 1

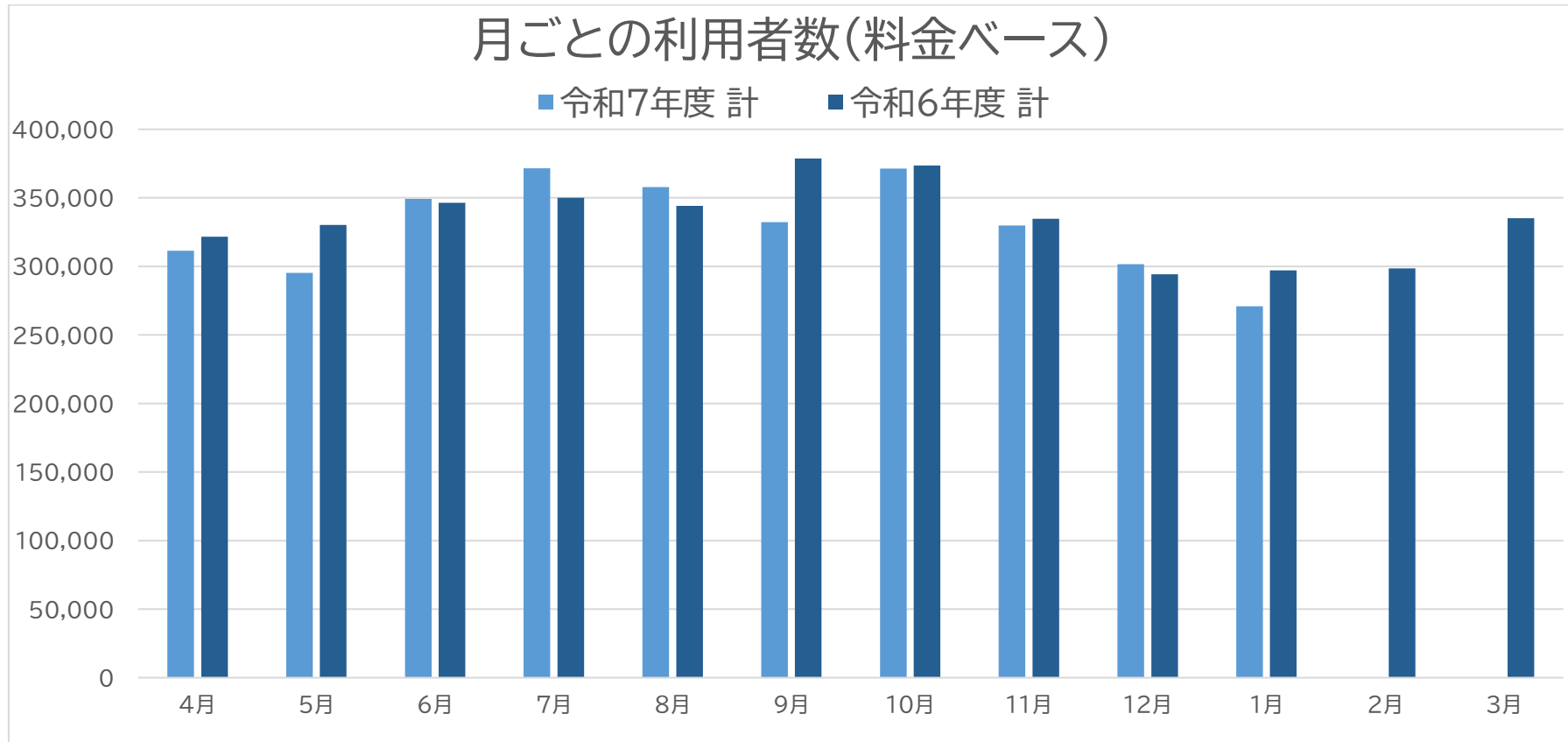


(単位:人)

1月末時点での総利用者数は令和6年度が45,917人、令和7年度が53,950人と約17%の増加となっている。  
グラフでは4月、8月の伸びが大きいが、令和6年度は機器入れ替え等により未集計の期間があったためと推察される。

## 循環バス運行状況について

資料 1



(単位:円)

料金ベースで比較すると、ほぼ前年と同様の傾向となることがわかる。また1月末時点合計金額では令和6年度が3,370,910円、令和7年度が3,291,682円と約2.4%の微減であるが、前頁「利用者数」の統計の誤差とも考慮すると、前年同数の利用があったことがうかがえる。

## タクシー券利用状況について

宮代町では令和3年度から満75歳以上の高齢者等を対象にタクシー乗車料金を一部助成する「高齢者等タクシー助成制度」を実施し、令和5年4月から配布枚数や単価等の見直しを行った。

### ●現在の利用状況

	令和6年度 (4月～1月)		令和7年度 (4月～1月)	
申請者数	3,160人 (令和7年1月時点)		3,631人 (令和8年1月時点)	
買い物	1,660件 (498,000円)	5.8%	2,225件 (667,500円)	7.1%
通院	10,752件 (3,225,600円)	37.2%	10,565件 (3,169,500円)	33.6%
その他	16,464件 (4,939,200円)	57.0%	18,617件 (5,585,100円)	59.3%
合計	28,876件 (8,662,800円)		31,407件 (9,422,100円)	

令和6年度と7年度を比較すると、申請者は1.15倍となり、利用枚数、金額はともに1.09倍となった。また利用目的については、概ね同様の傾向となった。

# 令和7年度宮代町交通需要調査業務報告書

イツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社  
2026年3月11日

## 宮代町交通需要調査業務概要

業務内容一覧	
交通動向調査	町内循環バスのデータを分析
住民意識調査	住民に対するアンケート調査 無作為抽出2000名の住民に対して、1017名の回答（紙、WEB）
主要施設利用者調査	公共施設、病院や商業施設など 町内5拠点の利用者に聞き取り調査 10月23日～11月7日実施、792件聞き取り（町内外含む）
地域ワークショップ	地域交通に関するワークショップの開催、ヒアリング 第一回：地区連絡会議、第二回：地区長参加による
交通事業者ヒアリング	宮代町で交通事業を行う4社、5部門に対して、交通事業者の現状や課題感などをヒアリング

## 調査結果：住民意識調査

項目	詳細
調査対象	宮代町内に住む満18歳以上の男女
調査件数	2,000人
調査様式	郵送にて配布、総ページ数8P、問26項目で構成 紙面回答にて返送、 もしくは、WEBフォームにて入力
実施期間	9月配布 10月末日返送〆切
返答数	1017件（回答率50.85%）

## 実際に使用したアンケートの一部

R7年度 宮代町公共交通 アンケートNo. 0001

**宮代町公共交通に関するアンケート ご協力をお願い**


平素より、宮代町行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本町の今後の公共交通の更なる利便性及び持続性の向上を図ることを目的に、町内にお住まいの方を対象として、『公共交通に関するアンケート』を実施することとしました。  
将来にわたり、地域のみならずまことにより良い公共交通としていくための貴重なデータ、ご意見となります。  
お忙しい中、大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

<ご回答いただく際の注意事項>

**■アンケートへの回答方法について**  
・選択肢（ア、イ、ウ）があり、特に記載がない場合は、あてはまるものを「1つ」だけ選んで、各質問の記号記入欄にご記入ください。複数回答可能な場合は、あてはまるものを、「最大3つまで」選んで、各質問の記号記入欄へご記入ください。  
・記号記入欄には、必ず記号を1つだけ記入してください。  
・「その他」もしくは、自由記述に関しては、記入欄にご記入ください。  
・枠をはみ出さないようにご回答いただき、訂正する場合は二重線で消してください。

**■WEBでのご回答について**  
本アンケートはWEBでもご回答いただけます。次のURLもしくはQRコードからアンケートフォームへアクセスしてください。なお、ご回答の際は紙もしくはWEBどちらか一方としていただき、WEBでご回答の際は本用紙右上のアンケートNo.をご入力ください。

<URL>  
<https://forms.gle/6ajd5EZ14mVeEaPy7>



**■アンケート回答期限について**  
ご回答・ご返送は令和7年9月30日までにお願いたします。

（お問合せ先）  
宮代町 企画財政課 管財担当  
電話：0480-34-1111（内線 211・212）  
メール：jyokan@town.miyashiro.saitama.jp

R7年度 宮代町公共交通 アンケートNo. 0001

2

**問6** ご自宅にある乗り物で、あなたが利用する頻度が高いものを最大3つまで該当する記号をご回答ください。（複数回答可）  
ア：自動車（自分で運転する） イ：自動車（自分では運転しない） ウ：自転車  
エ：バイク オ：シニアカー カ：その他（記述欄にご記入ください）

6回答			
記号記入欄			

【記述欄】  
\_\_\_\_\_

**あなたの日常生活の外出状況について、4つの目的（①通勤・通学、②買い物、③通院、④趣味・娯楽・習い事・食事等）で、あてはまるものを教えてください。**

**問7** 各目的における外出頻度について、該当する記号をご回答ください。  
ア：週4日以上 イ：週2日～3日程度 ウ：週1日程度 エ：月に数回  
オ：この目的ではほとんど外出しない

目的	記号記入欄
① 通勤・通学	
② 買い物	
③ 通院	
④ 趣味・娯楽 習い事・食事等	

回答記入例	
① 通勤・通学	イ
② 買い物	エ
③ 通院	ウ
④ 趣味・娯楽 習い事・食事等	ウ

## 調査結果：主要施設利用者調査

項目	詳細
調査対象	対象施設の利用者
調査件数	792人
調査様式	ブースにてスタッフが声掛け、1～3分程度のヒアリング調査、調査員がフォームに入力し記録
実施場所・期間	宮代町役場 10月23日・24日 総合運動公園 ぐるる宮代 10月29日・30日 ピアシティ宮代 10月31日・11月1日 東武動物公園駅 11月3日・4日 公設宮代福祉医療センター六花 11月6日・11月7日
回答数	792人



## 調査結果：地域ワークショップ

項目	詳細
調査対象	地区連絡会役員、会員
調査件数	第1回 4回 第2回 2回
調査様式	第1回 地区連絡会に参加、会議議題として開催 第2回 ワークショップ形式で開催
実施期間	第1回 9/5（古利根地区）、9/6（駅西口地区）、 9/6（須賀地区）、9/7（姫宮地区） 第2回 11/29午前・午後2回開催
参加者数	第1回 9/5 10名、9/6 13名、9/6 27名、9/7 24名 第2回 11/29午前 27名・午後 20名
内容	第1回 宮代町の交通について、地域公共交通における現状、宮代町の公共交通の現状、意見交換 第2回 宮代町交通に関する現状共有、調査内容中間報告、他地域事例紹介、意見交換



## 調査結果:交通動向調査(バス)

項目	詳細
分析対象	町内循環バス
根拠データ	令和6年バス停毎の乗降車人数一覧データ (宮代町提供)
データ性質	停留所ごとの月間乗降車人数

### 利用実績サマリー 令和6年度 (2024年4月～2025年3月)

項目	詳細
年間乗車人数	56,586人
月間最大利用月	3月 5,686人
月間最小利用月	4月 1,865人 (運行日数が少ない) ※次点 8月 3,957人
月平均乗車	4,715人

## 調査結果:交通動向調査(バス)

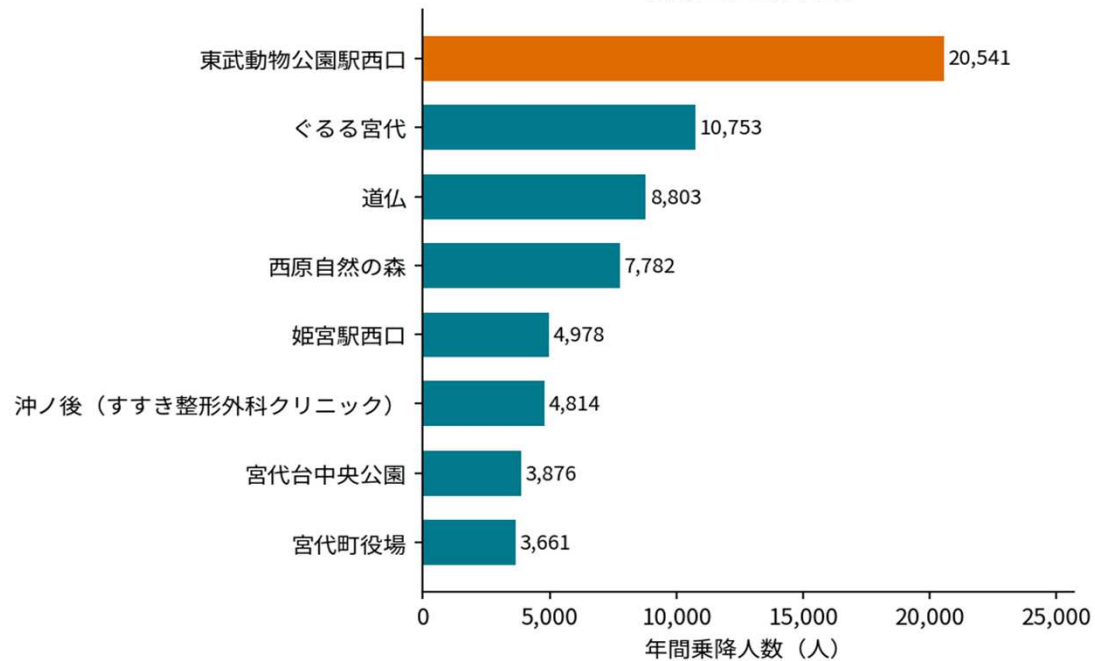
### 利用上位バス停

順位	バス停名	年間乗降数
1	東武動物公園駅西口	20,541
2	ぐるる宮代	10,753
3	道仏	8,803

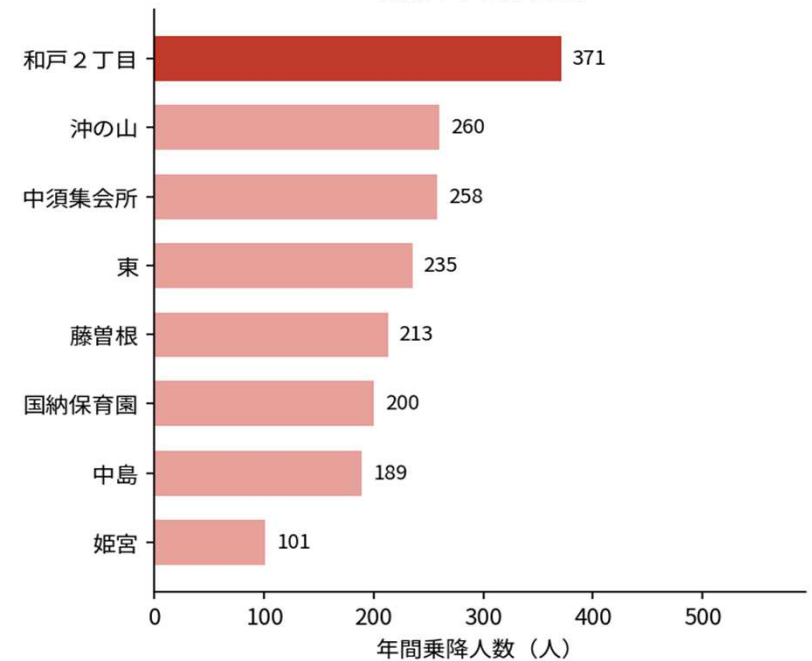
### 利用下位バス停

順位	バス停名	年間乗降数
1	姫宮	101
2	中島	189
3	国納保育園	200

利用上位8停留所



利用下位8停留所



## 調査結果:交通動向調査(バス)

### 乗降差分データ上位

ぐるる宮代→西原(往路) 西原→ぐるる宮代(復路)  
(式: 降車-乗車)

順位	バス停名	降車	乗車	差
1	宮代台1丁目	2,164	876	1,288
2	日本工業大学入口	1,804	1,113	691
3	公設宮代医療福祉センター六花	783	202	581

### 乗降差分データ下位

ぐるる宮代→西原(往路) 西原→ぐるる宮代(復路)  
(式: 降車-乗車)

順位	バス停名	降車	乗車	差
1	東	14	5	9
2	姫宮北団地北公園	23	21	2
3	藤曽根	1	0	1

### 乗降差分データ上位

西原→ぐるる宮代(往路) ぐるる宮代→西原(復路)  
(式: 降車-乗車)

順位	バス停名	降車	乗車	差
1	和戸駅	1,294	36	1,263
2	宮代町役場	1,437	727	710
3	公設宮代医療福祉センター六花	898	311	587

### 乗降差分データ上位

西原→ぐるる宮代(往路) ぐるる宮代→西原(復路)  
(式: 降車-乗車)

順位	バス停名	降車	乗車	差
1	和戸2丁目	59	49	10
2	川端公民館	1,006	998	8
3	沖の山	1	0	1

## 調査結果:交通動向調査(バス)

### バス乗降データに見る課題整理

#### ①利用集中と偏在

- ・東武動物公園駅西口が年間20,541と突出した利用数（全体の18%）
- ・上位5停留所で利用の50%超を占める集中構造
- ・姫宮地区の停留所（年間乗車数4名）との格差が顕著

#### ②低利用停留所の課題

- ・利用0~200人未満の停留所が10か所以上（全体の25%）

#### ③季節変動・時間変動

- ・月平均利用数（4,716）から月により、上下1,000名程度の変動あり

## 調査結果:住民意識調査

### アンケート項目一覧

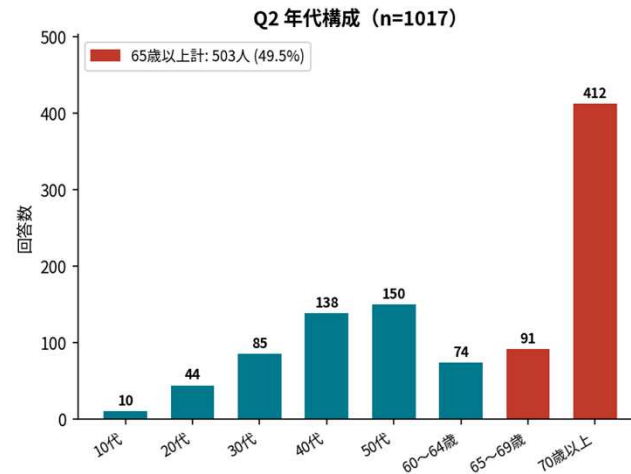
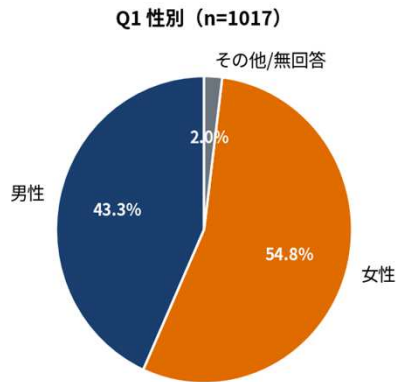
問	項目
1	性別
2	年代
3	お住まいの地域
4	世帯構成
5	運転免許所有有無
6	よく利用する乗り物
7	目的別外出頻度
8	目的別行先
9	目的別移動手段
10	目的別移動時間・時間帯
11	外出時の困り事
12	循環バス利用頻度
13	循環バス利用する曜日傾向
14	循環バス利用目的

問	項目
15	循環バス利用行先
16	循環バス満足度、要望
17	循環バスを利用する理由
18	循環バスを利用しない理由
19	タクシー利用頻度
20	タクシー利用運賃
21	タクシーを利用する理由
22	タクシーを利用しない理由
23	タクシー助成事業助成券利用頻度
24	公共交通に対する考え方
25	公共交通の変化による外出機会変化可能性
26	公共交通に対するご意見、自由記述

## 調査結果:住民意識調査

総回答1,017人のうち65歳以上は503人（49.7%）  
 うち、循環バス非利用者は733人（72.1%）、外出に関する最大の不安は「運  
 転ができなくなる」356人（35.0%）」

### 回答者の属性

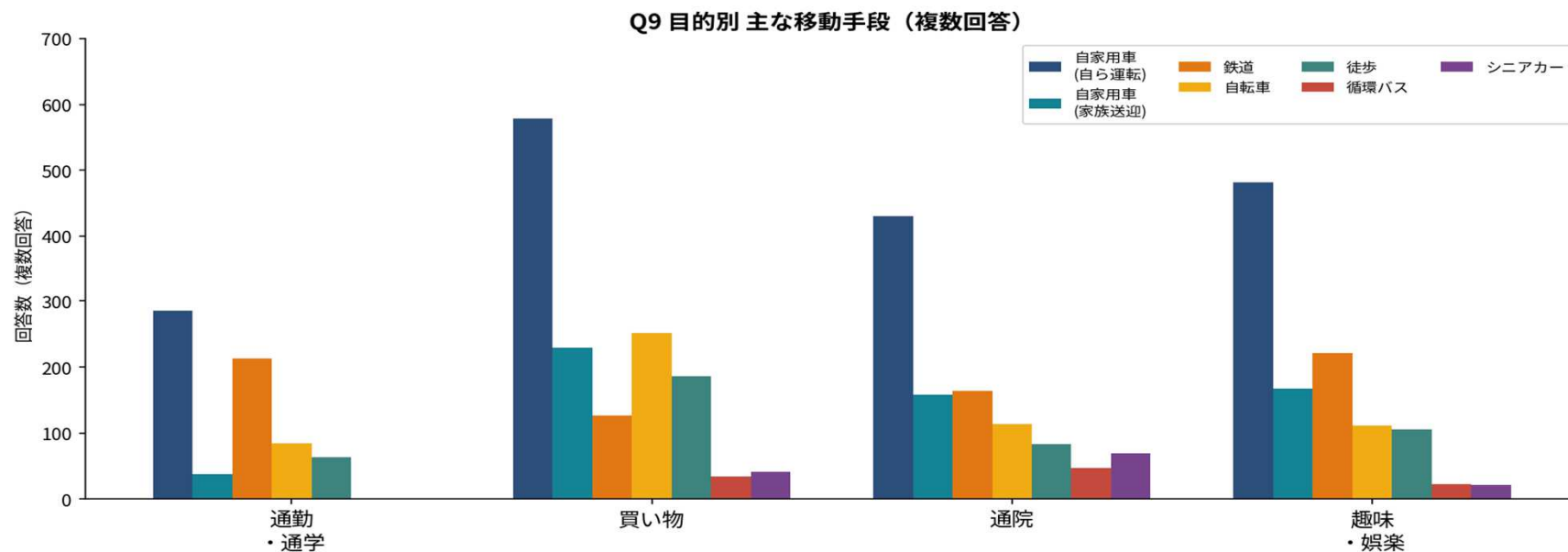


### 回答者居住地

順位	地域名	年間乗降数
1	東武動物公園駅周辺 (笠原・中央・宮代・本田)	183(18.0%)
2	和戸駅周辺 (和戸1丁目から5丁目)	87(8.6%)
3	道仏	81(7.1%)
4	姫宮駅東口 (川端1丁目から4丁目)	72(18.0%)
5	宮代台・国納北	66(6.5%)
6	百間 (1丁目から6丁目)	66(6.5%)
7	須賀 (須賀上・須賀下・須賀島)	49(4.8%)

## 調査結果:住民意識調査

日常の外出状況と移動手段については、自家用車が主流。全目的で「自動車（自ら運転）」が最多。買い物578件・通院430件・趣味482件。循環バスの利用は自家用車の10分の1以下。買い物34件・通院47件・趣味23件。



### 鉄道利用

通勤	趣味	買い物	通院
213	221	126	164

### 家族送迎

買物
229

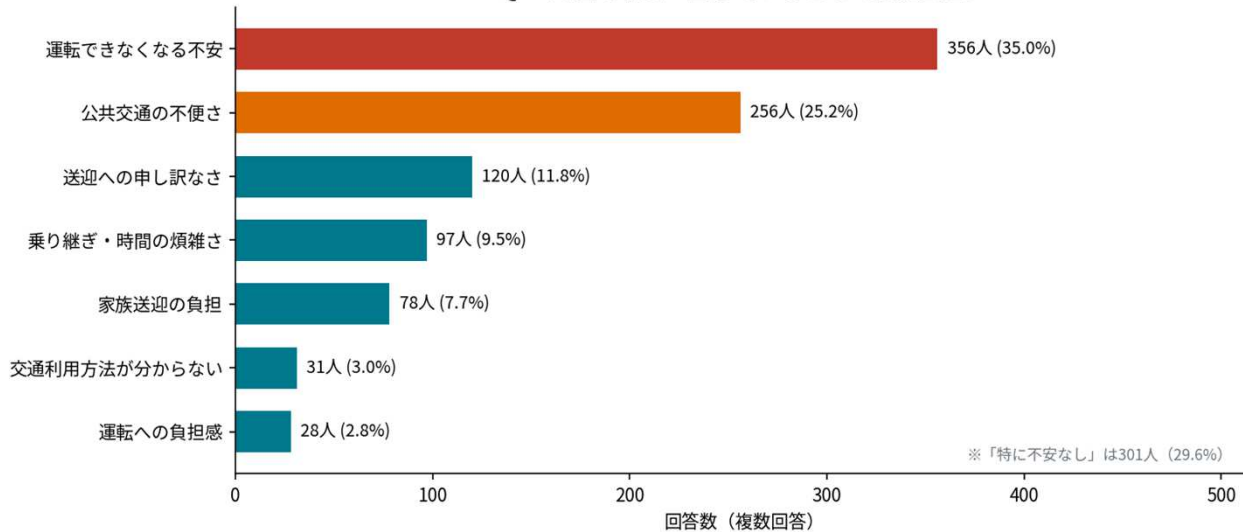
### シニアカー

通院
69

## 調査結果:住民意識調査

外出に感じる不安や困りごとに関しては、301人（29.6%）が「特に不安なし」と答えている一方、何らかの不安を感じている住民は70%以上の回答があった。自家用車以外の公共交通に対して、不便さを感じていることが多い。

Q11 外出で不安・困っていること（複数回答）

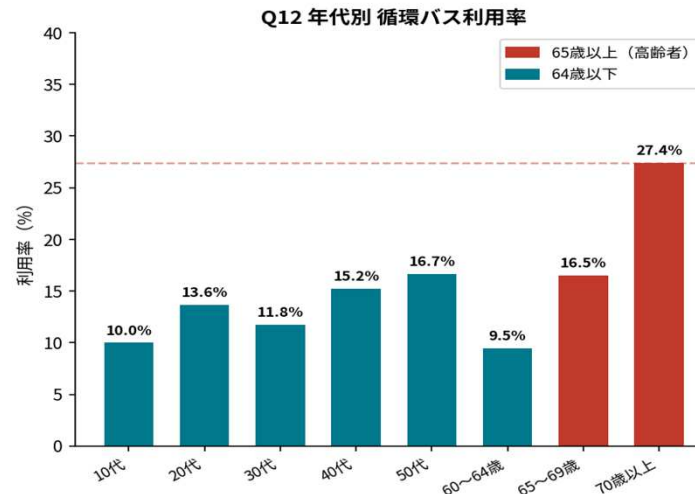
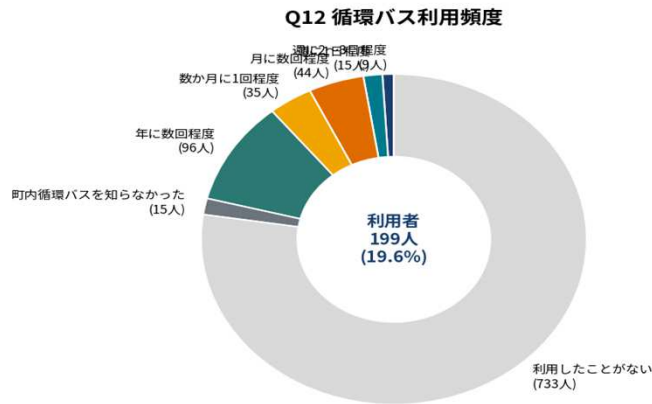


## 地区別の不安傾向（抜粋・記述回答より）

地区	困り事
中島・百間地区	スーパー閉店後、買い物に関する移動に困難さを感じている
東・藤曽根地区	バス停が遠く、雨天時の外出のしにくさがある
西原・山崎地区	バスの本数が少なく、通院に不便さがある
宮代台地区	高齢者の免許返納後の移動手段に不安が多い 循環バスの路線もあるが代替手段として捉えられていない

## 調査結果:住民意識調査

循環バスの利用実態について、70歳以上の利用率27.4%は、他の年代（10~15%台）の約2倍で、循環バスの中核ユーザーである。一方で、利用したことが無い733人（72.1%）、知らなかった15人（1.5%）潜在需要の掘り起こしも課題。通院目的での利用が最多で47人（23.6%）

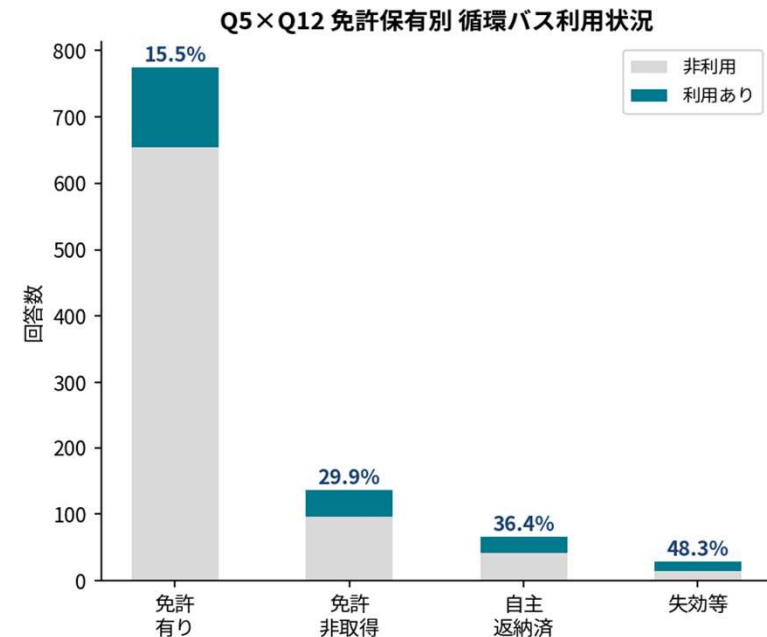
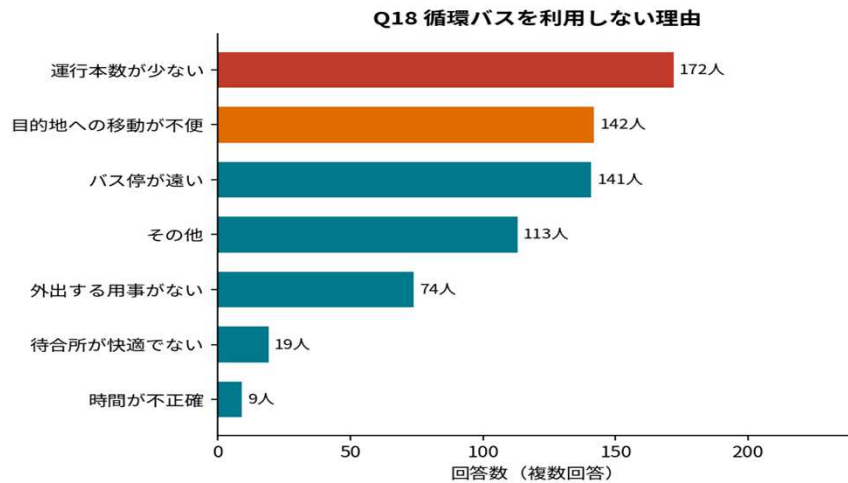


循環バスの利用目的(利用者199人中)

目的	回答数
通勤・通学	6件 (3.0%)
買い物	40件 (20.1%)
通院	47件 (23.6%)
趣味・レジャー	34件 (17.1%)
習い事・スポーツ	9件 (4.5%)

## 調査結果:住民意識調査

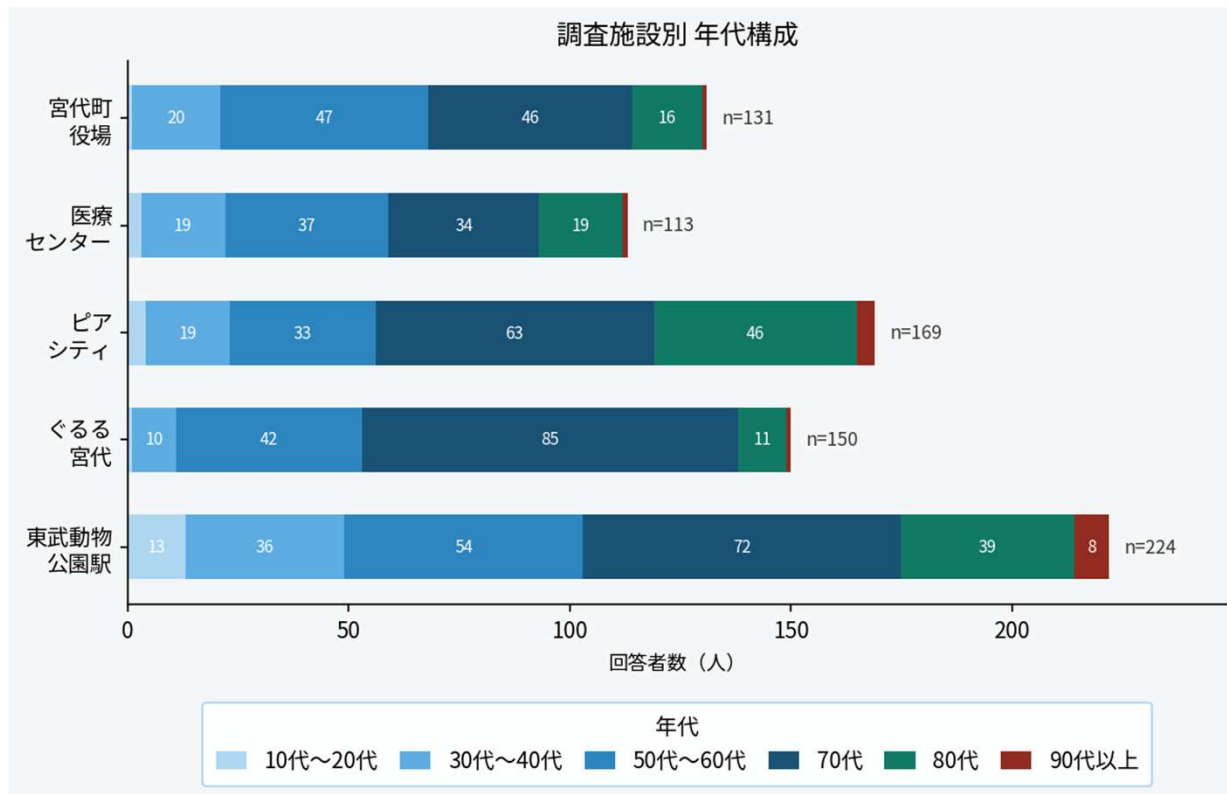
循環バスを利用しない理由は、「運行本数が少ない」172件「目的地への移動が不便」142件「バス停が遠い」141件が上位3つ。一方で、利用者傾向では免許非取得者・返納済者の利用があり（30~48%）ターゲット層が明確である。



## 調査結果: 主要施設利用者調査

ヒアリングデータでは、70代が全体の434人（55%）高齢者の移動支援、交通課題への対応が最優先事項

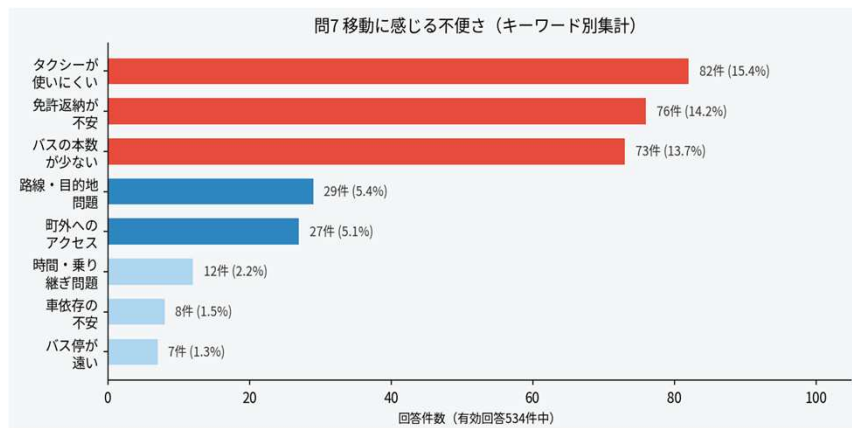
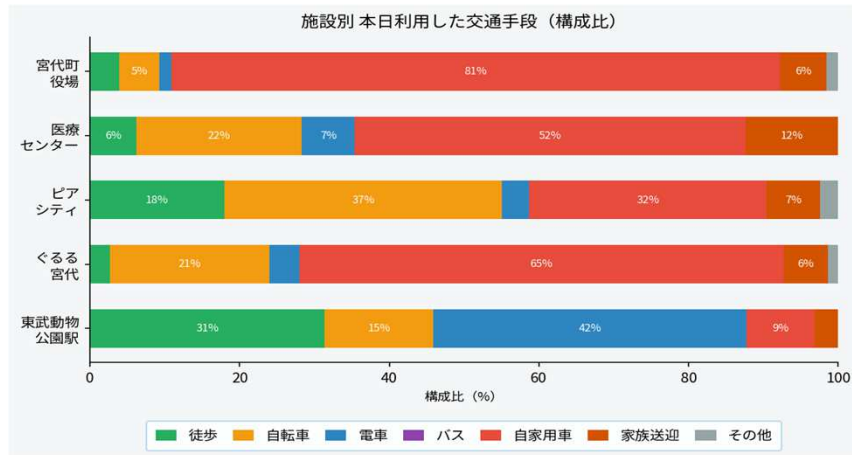
### ヒアリング施設別の傾向



施設名	件数と傾向
宮代町役場	131件、50-60代36%
医療センター六花	113件、50-60代36%
ピアシティ	169件、70代37%、80代27%
ぐるる宮代	150件、70代が57%で施設比較では最大割合
東武動物公園駅	224件、70代が38%、80代が17%

## 調査結果: 主要施設利用者調査

利用交通手段に関しては、自家用車利用が最も多く、宮代町役場では、8割以上が自家用車での来訪であった。また、移動に関する不便さに関しても、バス・タクシーへの課題が一定数聞かれた。



## ヒアリング施設別の傾向

施設名	件数と傾向
宮代町役場	自家用車81%、最も車依存での来訪が多かった
医療センター六花	車が53%、家族送迎が12% 利用者の状況から自力通院が困難な利用者もあった
ピアシティ	自転車37%で近隣からの来訪が多い
ぐるる宮代	自家用車が65%、バス停はあるが、時間が合わないなどの理由で選ばれていないケースもあった
東武動物公園駅	徒歩31%、自転車15%、乗り継ぎは少なく、鉄道利用で完結させることが大多数である